

永田広志(君島慎一) 哲学者。マルクス主義の紹介に努め、{唯物論研究会}で論陣張るも、度々の検挙で健康を害し、早世。
ながたひろし
日露戦争始・1904 = 長野県山形村に生まれる。
日露戦争終・1905 = 1歳：

明治天皇没・1912 = 8歳：
大正政変・・1913 = 9歳：

__松本中学在学中から、社会問題に関心をもつ。
原敬首相暗殺1921 = 17歳：
水平社結成・1922 = 18歳：

護憲三派圧勝1924 = 20歳：__東京外国語学校(東京外語大)露文科卒業後、文筆活動に入り、

__当時、国際的に最も論議の活発であったソ連のマルクス主義哲学論争の諸成果を精力的に翻訳・紹介し、
わが国のマルクス主義哲学の発展に大きな刺激を与える。

世界恐慌・・1929 = 25歳：以降、__プロレタリア科学研究所の哲学部に所属、

満州事変・・1931 = 27歳：以降、__反宗教闘争同盟・戦闘的無神論者同盟にも参加。
五一五事件・1932 = 28歳：*戸坂潤とともに、唯物論研究会を創設、

__弁証法の諸問題やマルクス主義の体系的把握、さらに日本思想史にかかわる数多くの論文・著書を発表。
この間、__たびたびの検挙で健康を害する。

二二六事件・1936 = 32歳：__「日本唯物論史」、

日中戦争始・1937 = 33歳：

健保+総動員 1938 = 34歳：*「日本封建制イデオロギー」「日本哲学思想史」。戸坂・古在由重ら唯物論研究会の主要メンバーとともに、
治安維持法で検挙されるが、

大政翼賛会・1940 = 36歳：

日米開戦・・1941 = 37歳：

__病のため入獄を免れている間に、

敗戦・・・1945 = 41歳：*敗戦となる。戦後、わが国の民主主義革命の前進のための評論に精力を傾けたが、

新憲法施行・1947 = 43歳：松本市の仮寓で__病没した。